



## 著作目録(永野為武)

著者	東北大学史料館
号	106
発行年	1974-03
URL	<a href="http://hdl.handle.net/10097/63449">http://hdl.handle.net/10097/63449</a>

永野為武教授著作目録

昭和 49 年 3 月

東北大学記念資料室



## 永 野 為 武 教 授 略 歴

明治43年12月12日 松山市に生れる  
現 住 所 仙台南[REDACTED]  
旧制松山高等学校を経て  
昭和8年 東北帝国大学理学部生物学教室卒業  
同 年 東北帝大大学院入学、動物生理学専攻  
11年3月退学 東北帝大理学部副手、講師、東北大学教養部、農学部助教授を経て  
昭和24年 東北大学教授（教養部）  
昭和23年 理学博士。東北大学評議員（6年）  
昭和39年 東北大学教養部長（40年10月まで）  
昭和25年 文部省在外研究員として来国に留学  
昭和41年より47年まで、大学入試改善会議委員（文部省）  
昭和47年以降、東北開発審議会委員（内閣）  
昭和48年 日本動物学会評議員、大学入試改善委員会分科会委員長  
（国立大学協会）などを勤める  
昭和49年4月1日退官、東北大学名誉教授

## 著 作 目 録

発表年	論文・論文集題目	掲載誌・発行所	巻	ページ
I 研究論文				
1934	The Duration of Life of Earthworms in Water and in Pure Gases.	Sci. Rep. Tohoku Imp. Univ., Biol.	9	97~109
1934	最近の理論生物学と生物学の哲学	文 化 (東北帝大文学部)	1	1523
1934	生物学に於ける「死」の問題	総 合 科 学	1	
1935	自然死の生物学的考察	総 合 科 学	1	
1935	シマミミズの棲息せる土壌のガス状態	生 態 学 研 究	2	117~122
1936	甲殻類色素胞に関する研究	植 物 及 動 物	1	95~102
1943	Physiological Studies on the Pigmentary System of Crustacea. I. The color change of s shrimp <i>Paratya compressa</i> (DE HAAN).	Sci. Rep. Tohoku Univ., Biol.	17	223~245
1943	エビの眼中色素の日週期性の研究	日 本 水 産 学 会 誌	11	163~167
1943	『理論生物学論叢』	昭 和 書 房		
1944	「無脊椎動物の体色変化」	『生物学の進歩』		第2集所載
1947	Physiological Studies on the Pigmentary System of Crustacea II. The pigment migration in the eyes of the shrimps.	Sci. Rep. Tohoku Univ., Biol.	18	1~16
1949	Physiological Studies on the Pigmentary System of Crustacea. III. The color changes of an isopod <i>Ligia exotica</i> (Roux).	Sci. Rep. Tohoku Univ., Biol.	18	167~175
1950	Physiological Studies on the Pigmentary System of Crustacea. IV. Studies on the diurnal rhythm of the eye pigment of the shrimps.	Sci. Rep. Tohoku Univ., Biol.	18	286~297
1950	Physiological Studies on the Pigmentary System of Crustacea. V. Drug action upon the pigmentary system of a shrimp.	Sci. Rep. Tohoku Univ., Biol.	18	298~303
1950	Physiological Studies on the Pigmentary System of Crustacea. VI. The oxygen consumption of a shrimp <i>Paratya compressa</i> under the experimental conditions.	Sci. Rep. Tohoku Univ., Biol.	18	446~452
1950	Physiological Studies on the Pigmentary System of Crustacea. VII. The effect of colored light on the pigment migration of the shrimps.	Sci. Rep. Tohoku Univ., Biol.	18	453~459

1951	Physiological Studies on the Pigmentary System of Crustacea. VIII. The relation between the blood sugar values and the migration of the eye pigment in the shrimps.	Sci. Rep. Tohoku Univ., Biol.	19	118~122
1951	ヒトデの是正運動について	実験生物学報	1	51~ 54
1951	河原湧泉に於ける群集生態学的研究 I. (宮城県鳴子温泉に於ける調査) 野村七録, 永野為武, 加藤隆奥雄, 鳥海 衷	生態学研究	9	41~ 46
1952	Physiological Studies on the Pigmentary System of Crustacea. IX. An analysis of the proximal retinal pigment in the shrimp.	Sci. Rep. Tohoku Univ., Biol.	19	219~220
1953	Physiological Studies on the Pigmentary System of Crustacea. X. An analysis of the behavior of the distal retinal pigment in the shrimp.	Sci. Rep. Tohoku Univ., Biol.	20	1~ 5
1954	Physiological Studies on the Pigmentary System of Crustacea. XI. Adsorption of silver on the gills of a shrimp and a crayfish.	Sci. Rep. Tohoku Univ., Biol.	20	244~248
1955	The behavior of crustacea exposed to colored light.	Bull. Marine Biol. Station of Asamushi, Tohoku Univ.	7	44~ 49
1958	Physiologices Studies on the Pigmentary System of Crustacea. XII. The effect of chloropromazine upon pigment migration in the eyes of a crayfish.	Sci. Rep. Tohoku Univ., Biol.	24	1~ 8
1958	Physiological Studies on the Pigmentary System of Crustacea. XIII. Intake and output of water regulated by the eye-stalk hormone of a crayfish.	Sci. Rep. Tohoku Univ., Biol.	24	9~ 13
1959	「光と動物」	『一般生理学』所載 朝倉書店		
1960	「動物行動学および内分泌学より進化学への発言」	『ダーウィン進化論 百年記念論集』所載 日本学術振興会		205~214
1962	生物季節による推定一文学調査における一方法	東北文学論集 (東北大学・東北文学調査会)	1	54~ 60
1962	ドリーシュにおける生命の問題 —その生物学的・哲学的考察	文科紀要 (東北大学教養部)	9	106~125
1967	「無脊椎動物の内分泌による調節作用」	現代生物学大系 第 9巻『動物の生理・ 生化学』 中山書店		302~321

- |      |   |                       |   |         |
|------|---|-----------------------|---|---------|
| 1968 | コーチモン(cortimone) という概念の提唱—ことばの本性に関する一考察 | 東北大学教養部紀要             | 7 | 178~194 |
| 1972 | 『動物の行動』                                 | 生態学講座 第22巻<br>共 立 出 版 |   | 86pp.   |
- 

(文学に関する研究論文は省略)

## II 単行書

発行年月	著 作 名	発 行 者 名
昭和12年4月	ラッセル『動物の行動・環境』（石田周三共訳）	岩 波 書 店
〃 12年11月	バース『動物の移行と進化』（野村七緑・石田周三共訳）	内田老 鶴 圃
〃 13年10月	ダーウィン『家畜・栽培植物の変異』（篠遠喜人共訳）	白 揚 社
〃 14年7月	ホワイトヘッド『自然と生命』（柘植秀臣共訳）	三 省 堂
〃 15年3月	B. b. メイル『細菌物語』（谷田専治共訳）	青 木 書 店
〃 15年4月	『生物学辞典』（柘植秀臣・谷田専治共編）	富 山 房
〃 15年5月	ダーウィン『珊瑚礁』	改 造 社
〃 16年2月	マレーズ『白蟻談義』（谷田専治共訳）	日 新 書 院
〃 18年1月	永野為武著『科学の歴史』	三 笠 書 房
〃 22年3月	永野為武著『科学の衣裳』	富 山 房
〃 22年3月	〃 『トーマス・ハックスリ小伝』	生 活 社
〃 24年12月	〃 『小動物物語』	広 島 図 書
〃 25年10月	『最新生物学辞典』（柘植秀臣・谷田専治共編）	岩 崎 書 店
〃 26年2月	永野為武著『生物と環境』	三 省 堂
〃 27年3月	〃 『科学史』（上・下）	三 省 堂
〃 28年11月	〃 『科学の窓』	石 崎 書 店
〃 31年3月	〃 『一般生物学』	学術図書出版社
〃 32年4月	『動物学基本』（加藤陸奥雄共編）	養 賢 堂
〃 32年4月	永野為武著『科学なるほどブック』	東 北 出 版
〃 32年11月	N. ティンベルヘン『本能の研究』	三 共 出 版
〃 36年1月	『最新生物学概論』（猪野俊平共著）	三 共 出 版
〃 36年11月	J. P. スコット『動物の行動』	法政大学出版局
〃 37年4月	『世界名著大事典』全8巻、20数日執筆	平 凡 社
〃 37年5月	『新編自然科学概論』（本多修郎・大内義一共著）	理 想 社
〃 39年4月	J. ハックスレー編『ヒューマニズムの危機 —新しい人間主義の構想（4章分分担訳）	平 凡 社
〃 41年3月	永野為武著『よくわかる生物』	旺 文 社
〃 41年6月	〃 『生活科学概論』	内田老鶴圃新社
〃 41年7月	〃 『さまざまな視覚の世界』	新 潮 社
〃 42年4月	〃 『甘言充巷』	宮城時事新報社

昭和42年 7 月	永野為武著『ジュリアンハックスの進化的ヒューマニズム』	民主教育協会
〃 43年 4 月	〃 『一般生物科学』	学術図書出版社
〃 44年 5 月	〃 『工学的生物学』	文理書院
〃 45年11月	ユネスコ編『語録・人間の権利』 (うち1章分分担訳)	平凡社
〃 45年 4 月	永野為武著『動物の“ことば”の秘密』	旺文社
〃 46年 1 月	西欧文化への招待第12巻『自然と人間』 (うち1章分分担訳)	グロリアホーム ライブラリー
〃 47年 3 月	永野為武編『英和・和英 生物学用語辞典』	三共出版
〃 48年 1 月	ノウエル・ミニス編『概説言語学』 (うち1章分分担訳)	三省堂
〃 48年 3 月	『生物科学概論』(猪野俊平共著)	三共出版

---

(句集・文芸書は省略)







